

道徳科 学習指導案

平成31年1月23日（水） 第3校時（3の2教室） 3年2組 指導者

I 主 題 きまりは何のため

II 考 察

1 主題観

(1) 育成を目指す資質・能力の三つの柱

①知識及び技能

みんなが楽しく過ごすために一人一人が守るべきことを守ることについての理解

②思考力、判断力、表現力等

みんなが楽しく過ごすために一人一人が守るべきことを守ることについての自己の考え

③学びに向かう力、人間性等

みんなが楽しく過ごすために一人一人が守るべきことを守ろうとする意欲と態度

(2) 学習内容：学習指導要領上の位置付け

C 主として集団や社会との関わりに関すること

12 規則の尊重〔第3学年及び第4学年〕

約束や社会のきまりの意義を理解し、それらを守ること。

(3) 主題や教材の価値

本主題は「規則の尊重」の内容項目のうち、みんなが楽しく過ごすために一人一人が守るべきことを守ることの大切さについて考える学習である。本主題の価値は以下のとおりである。

集団生活においては、さまざまなきまりがある。なぜなら、きまりを守ることで、みんなが楽しく安心して過ごす権利を守ることができるからである。そしてそれは、互いの権利を尊重し合うよりよい人間関係を築き、集団を維持発展させることにつながる。しかし、集団生活を送る上では、きまりと異なり明文化されていない、一人一人が守るべきこととしての約束事も存在する。けれども、その存在に気付かなかつたり、捉え方が他人と異なつたりして、一人一人が十分に守ることができないことがある。そのため、みんなが楽しく過ごすために一人一人が守るべきことを守ることの大切さについて考えることは、守るべきことを守ろうとする態度を養うことにつながる。

子どもたちは、集団生活において、一人一人が使った物を片付けたり、落ちているゴミを拾ったりするべきであることを知っている。しかし、自分以外の誰かがやってくれると考える人間の弱さから、人任せにしてしまうことがある。このような子どもたちが、みんなが楽しく過ごすために一人一人が守るべきことを守ることの大切さについて考えることは、実践への意欲を高めることにつながる。

そこで、教材「こまるのはだれ？これでいいのかな？」を使用する。教材の内容及び価値は次のと

おりである。

クラスのボールが片付かないことがあった。片付ける当番についてのきまりがあったり、話し合って新たに当番を決めたりしたが、うまくいかない。ある日、男の子がボールを片付け、よい方法が見つかったとボールは喜ぶ、という内容である。

ボールが片付いたことについての感想や疑問を話し合うことは、みんなが楽しく過ごすために一人一人が守るべきことを守ることの大切さについての問題意識をもつことにつながる。また、ボールが片付いた理由を話し合うことは、みんなが楽しく過ごすためには、一人一人が守るべきことを守る必要があることに気付き、実践しようとする態度を養うことにつながる。

(4) 今後の学習

ここでの学習は、4年「きまりを守る」での、快適な集団生活のためにきまりを守ることについて考える学習へと発展していく。

2 児童の実態及び指導方針

子どもたちはこれまでに、3年「きまりをうむもの」において、きまりの意義についてについて考える学習をしてきた。この学習で明らかになった子どもたちの実態及び本主題を進めるにあたっての指導方針は、次のとおりである。

- ① みんなが気持ちよく過ごすためにきまりが作られていることを理解してきている。このような子どもたちが、一人一人が守るべきことを守ることで、みんなが楽しい生活を送れることを理解できるように、ボールが片付いた理由を問う学習課題を設定する。
- ② みんなが気持ちよく過ごすためにきまりを守ることについて、自分との関わりで多面的・多角的に考えることができてきている。このような子どもたちが、みんなが楽しく過ごすために一人一人が守るべきことを守ることの大切さについて、自分との関わりで多面的・多角的に考えられるように、学習課題について話し合う中で、ボールが片付いたこととその根拠になる男の子の心情を視覚化して板書する。
- ③ みんなが気持ちよく過ごすためにきまりを守ろうとする態度を養ってきている。このような子どもたちが、みんなが楽しく過ごすために一人一人が守るべきことを守ろうとする態度を養えるように、これまでの自分の生活のよさや課題、これからの生活への思いと、その理由を記述する学習プリントを用意する。

Ⅲ 指導計画 ※Ⅲについては、別紙参照

Ⅳ 本時の学習

- 1 ねらい ボールが片付いた理由を話し合うことを通して、みんなが楽しく過ごすために一人一人が守るべきことを守ることが大切であることに気付き、実践しようとする態度を養う。
- 2 準備 場面絵 学習プリント
- 3 本時に想定した躍動をする子どもの姿
学習課題「どうして、うまくいったのだろう」の解決に向けて、自らの価値観や生活経験、友達や教師の発言を根拠に、みんなが楽しく過ごすために一人一人が守るべきことを守ることの大切さについて考えたことを友達や教師に伝えている。

4 展開

学習活動と子どもの意識	指導上の留意点
<p>1 教材から学習課題をつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いつもきまりを守っているけど、守れなかったこともあるな。 ・当番を決めているのに、ボールを置きっぱなしにしてしまっているね。私も似たようなことがあったな。 ・片付かなかったボールが片付いてよかったと思うよ。きまりがあっても誰も片付かなかったのに、最後はどうしてうまくいったのかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ○本時のねらいとする道徳的価値への方向付けができるように、きまりを守ることの能否を問いかける。 ○教材の内容を把握できるように、範読した後に場面絵を提示しながら、登場人物の行為と様子を整理して板書する。 ○みんなが楽しく過ごすために一人一人が守るべきことを守ることの大切さについての問題意識をもてるように、ボールが片付いたことについての感想や疑問を問いかける。
<p>学習課題 「どうして、うまくいったのだろう。」</p>	
<p>2 学習課題の解決に向けて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男の子が、次に使う時に困らないようにと考えて片付けたからじゃないかな。きちんと片付けていれば、次に使う人が嫌な思いをすることがないよね。 ・きまりがあるからボールが片付かないのではなくて、人任せにしようとする気持ちがあるから片付かないのだと思うな。忘れちゃったり気付かなかったりすることがあって、片付かないのはしかたがないけど、めんどくさくて気付かないふりをするのは駄目だよ。 ・確かに男の子のおかげでボールが片付いたけど、他の子だって次に使う時のことを考えて片付けなくちゃいけないと思うな。一人一人ができないと困るよ。 ・男の子はきまりでもきまりじゃなくても、みんなが楽しく過ごせるように、しなければいけないことをしたから、うまくいったのだと思うよ。 <p>3 これまでの自己の生き方への課題やこれからの自己の生き方への思いについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これからはきまりになっていなくても、しなきゃいけないことを守りたいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習課題に対する考えとその根拠を学級全体で共有できるように、学習課題に対する考えを発表するよう促す。 ○人任せにしてしまう人間の弱さに気付けるように、片付かなかった理由がきまりであるか否かを問いかける。 2 一人一人が守るべきことを守ることの大切さに気付けるように、うまくいった理由が男の子の存在であるか否かを問いかける。 ○みんなが楽しく過ごすために一人一人が守るべきことを守ることの大切さについての理解を深められるように、学習課題に対する考えを再度問いかける。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">評価の視点</p> <p>みんなが楽しく過ごすために一人一人が守るべきことを守ることの大切さについて、多面的・多角的に考えたことや、自分との関わりで考えたことを、発言したり記述したりしている。 <発言・学習プリント></p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○よりよい自己の生き方を実現しようとする思いを明確にできるように、今までの生活と今後の願いを学習プリントに記述するよう促す。 ○これからの生活への意欲をもてるように、生活の見通しを具体的にもてたことを称賛する。

指導計画（全1時間）

ね ら い	ボールが片付いた理由を話し合うことを通して、みんなが楽しく過ごすために一人一人が守るべきことを守ることが大切であることに気づき、実践しようとする態度を養う。	
教材	こまるのはだれ？これでいいのかな？	
主題 構成	導入では、放課後まで片付けられていなかったボールが片付いたことについての感想や疑問を話し合うことで、みんなが楽しく過ごすために一人一人が守るべきことを守ることの大切さについての問題意識をもてるようにする。展開では、ボールが片付いた理由に着目して考えることで、人任せにせず、次に使う人のためにするべきことがあることに気付けるようにする。	
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>
導入	○教材を読み、学習課題「どうして、うまくいったのだろうか」をつかむ。	
展開	○学習課題の解決に向けて話し合う。	◇みんなが楽しく過ごすために一人一人が守るべきことを守ること大切さのについて、多面的・多角的に考えたことや、自分との関わりで考えたことを、発言したり記述したりしている。 <発言・学習プリント>
終末	○これまでの自己の生き方への課題やこれからの自己の生き方への思いについて考える。	
他の 教育 活動 との 関連	<p>・日常生活の中で、みんなが楽しく安心して過ごすために守るべきことを守る場面</p> <p>例：使った物や場所を片付ける場面 バスや電車の中で席を譲る場面 廊下を歩く場面 ブランコを順番で使う場面 等</p>	